通巻 Vol.29
平成12年8月号(年2回3月・8月発行)
発行 全国商工会議所青年部連合会
東京都千代田区九段南3-2-2
(商工会議所ビル内)
編集 広報委員会

翔生(しょうせい)

YEG
Symbol Logomark

これまで各地商工会議所で使用されている商工会議所のマークの下に、ボックスはシンプルでデザインした「シンプル」で親しみ易いロゴマークとなっています。いわば商工会議所青年部の英語名(Young Entrepreneurs Group)の頭文字をとったものですが、同時に商工会議所青年部の持つコンセプトである、情熱、広い視野をもった経営者=Youth, Energy, Generosityを表しています。

『地域をむすぶ、時代をつなぐYEG 新未来創造宣言!!』

全国商工会議所青年部連合会
平成12年度会長
倉橋純造

今世紀の幕が開く新世紀を現実の中で体験することができるその意味を、今改めて考えなければなりません。人と人が戦い、勝利した人が権力で支配してきた歴史が、この地球上では、はっきりわろうとしています。二十一世紀は、平和の国境がなくなり、人類がひとつになって、美しいこの地球を守らなければならない時代です。私たちが生きている地球が子孫たち人類に愛される星でなければなりません。その責任は二十一世紀の幕を開ける私たちにあると考えます。

私たちは先人達が築いてきた精神を肯定することはできません。戦後の社会復興に命を懸けて立ち向かい、高度成長期を創り育てた先人達は、二十一世紀の幕を開く私たち以上に、使命感に満ちあふれていたのではないでしょうか。先人達に見るその精神は、私たちも変えてはならないと思います。変わったのは時代です。先人達の時代と私たちの時代、友と語り合い交流して語る夢は、いつの時代も一緒かもしれません。

しかし時代の移り変わりに伴って、私たちは大きなギャップを背負ってしまいました。それは、中小企業と大企業、地域経済と日本経済、更には日本と世界の間に生まれた、大きな歪みと不均衡であり、人類にとっても大きな不幸を招いてしまいました。そのことを是正するためには、共生・共働の発想が不可欠ではないでしょうか。

私たちがやらなければならない役割と責務を、今こそ真剣に考え、誰かがやってくれるだろう、誰かが考えてくれるだろう、という魅力本願から、自ら考え自標を決め行動する自力本願こそが、今私たちに必要とされているのです。

私たち各地YEGにあっては、それぞれの地域づくりへの思いを形に表し、発信し伝え、そして発信することなしに、次代の安心感はけることはできないのです。そして、それぞれの人生の目標や立場が異なっても、地域への思いを同じくしている人たちを結びあわせる役割を果たし、私たち一人一人、YEG組織が、地域のインターディアリー(媒介)にならなくてはなりません。

更に、地域の結束の軸となり続けるためには、一歩一歩、成功体験を積み重ね、地域の信頼を獲得して行かなくてはなりません。私たちの思いをかなえるためにどうしても必要な仲間でありリーダーであること、共感共鳴力のある、アントレプレナーであることを証明して行かなくてはならないのです。

アントレプレナーとは、「人間にとって、絶不可欠なことは、人から必要とされなくなることである。」と言っています。地域の明日を創る仲間から必要とされ、次代を生駆けるものとして、信頼を勝ち得るために、私たちは自分の思いを自分たち自身の言葉で「伝えたい」、そのことによって、地域の力を「結びたい」、そして、自分の思い、地域の人々の思いを具体的な形で「かなえていきたい」。そうした行動を積み重ねることで、私たちYEGが時代に必要とされ、時代をリードできるのです。

私たちYEGの基盤は整いました。二十一世紀私たちは、わかりやすいYEG活動、魅力あるYEG活動、力強いYEG活動をどんどん外に向けてアピールし、一人一人が、夢に目的意識をもって、新たな発想と行動で、互いの夢を実現するのです。

私は、仲間とともに楽しく歩みを開始したいと思います。

(平成十二年度 活動目標)

1. 実践的経済活動の研究・推進
2. 青年経営人の視点から政策提言活動(シンクタンク部門の充実)
3. プライドと信頼のもてる組織運営
4. 人的ネットワークの構築(地域連携組織・情報網の研究・整備)
5. パワフルYEGの推進(感性・理性・知性・情熱)

副会長、専務理事挨拶

副会長 古泉幸一

昨年は、十一年度商青連部会幹事ならびに全国のYEGメンバーの皆様には大変お世話になりました。また、今年度は副会長として商青連に出向させていただくことになりましたので、引き続き変わらぬ友情をお願いいたします。私自身、非常に力足らずではありますが精一杯倉橋会長を補佐し、商青連ならびに全国のYEGの発展のために一年間がんばってみたいと思います。

商青連出向も四年目になりますが、その間多くの友人を全国に作ることができました。私のかけがえのない財産です。その財産を全国のメンバーだれもが共有できるような関係であれば良いと常々考えてきました。そのためにはどうか全国どこであっても、まず気軽に声をかけていただきたいと思います。そこからすべてが始まります。大変な時代、ともにがんばりましょう。

副会長 宇井成一

西暦二〇〇〇年、世間では「ミレニアム」と言い、何かと騒がしい。去年やねとよしの一年と何ら変りはないのであります。

日本という国は私の増元を含め、記念の行事や節目という「折り目」の正しいことが大好きなのであります。日本人はそういった機会毎にこれまで幾事にやってきたこと、やれなかったことに感謝し、また、反省をしてそれを基にこれからの将来を厚かくし飛躍していくのでしょう。

この美しい国には四季があります。季節のひとつひとつはすばらしく、順調に移り変わって行きます。この四季が「折り目」正しい日本人を育ってきたのでしょうか。

皆さんもこれまでにいくつかの「折り目」、そして来たことと思います。古来からの決められた「折り目」とは別に、自分なりのアレンジされた個性的な「折り目」もたくさん、あったはずです。組織・会社・友人そして恋愛と、いたるところで決断して来たことでしょう。

人間なにがあるか分からない。愛することを忘れず、のはんと生きたいのが本音。しかし、その日がその時がいつ現れるのかは誰も分からないのです。

私はアントレプレナーズ委員会の位置づけは人生の行方を変えてしまう「折り目」をしっかり折っていけるよう、発見性と価値を高うスページの提供であり、重大なテーマと考えております。

今後もお見のがしなく。

副会長 服部起久央

二十一世紀を目前に控え、日本経済は根やかな回復基調にあると度間伝えられてはいるものの、それを実感する迄にはいたりません。

この様な状況の中、全国三万人のYEGメンバーが、生き残りを賭けて、現状を打破するべく、何を考え、どう行動しようとしているのか。

又、地域の経済活性化のリーダーたちとする各地会が、YEG宣言にある通り、「夢に挑む」「地域を変える」「連帯の証となる」為、いかに活動しているのか。

これらの生の声、生の姿を、皆の地域のメンバーや中会へ伝えることが商青連の最大の使命であると考えております。

本年度、倉橋会長のもと副会長として、全国各地を訪れ、数多くのメンバーの皆様との出会いがあると思います。その時には、是非皆様に声をかけて頂き、熱く語りあえることを楽しみにしております。

副会長 矢口伸二

生まれ育った東京で、入社間もなくサラリーマンをやっていた私がおこがましくも昨年度は中国ブロック代表理事、今年度は西地区担当副会長を仰せいただきました。大企業、団体に属していれば、取引先、競合相手などの仕事関係の中で多くの見識、友人、後輩に出会い、情報収集、交流が可能であり、社会生活もその中で充分と錯覚してしまいます。大都市では住居と働く場が離れているため、地域活動への熱意も希薄となります。しかし、地方においては、その両立が自己の組織であり、社会生活そのものであり、商工会議所青年部に入らなければ、「井の中の蛙」になりかねません。メンバーは勿論の事、青年部未加入の方々にも商工会議所青年部の存在価値、意義を訴て感じて頂くために、本年度、広報委員会担当副会長として倉橋会長の活動目標のひとつである「プライドと信頼のもてる組織運営」を目指して微力ながら全国の人々に発信していきたいと思いますので、皆さんのご支援、ご協力を宜しくお願い申しあげます。

専務理事 千葉富士夫

今年の専務理事は、「鳴り、商青連」と言われており新聞にものを考え、さらにはベンチャービジネスや様々な研修会を行ない、起業家としての資質向上に取り組み地域経済のパイプルなになれることを目標に現在活動しているお同が多くなってきております。

今年度、スローガン「地域をむすぶ、時代をつなぐYEG 新未来創造宣言!!」のもと、活動的に、全国各地、各ブロックを回らせていただき、様々な問題点や各地の自慢話さらには商青連への要望等を把握したり、再大会等の運営や地方・都道府県への要望等を把握したり、再大会等の運営や地方・都道府県への要望等を把握したり、多大なリードを期待しますが、なかなかやりたくても出来るものでもない役どころですので覚悟を持ち責任を果て頑張って行きたいと思います。

一年間宜しくお願い致します。

CONTENTS
■地域をむすぶ、時代をつなぐYEG 新未来創造宣言!! …… 1
■副会長、専務理事挨拶 …… 1
■ブロック大会に寄せて! …… 2
■アントレプレナーズ紹介 …… 3
■委員会紹介 …… 4
■ブロック紹介 …… 5
■全国大会について(鹿児島県連) …… 6
■現在勤務アメリカ …… 7
■会長所信表明 …… 8
■ヤングリーダー研修会 …… 8
■メールアドレス紹介 …… 8
■編集後記 …… 8

新未来創造に向けて ブロック大会に集え！

地域を結び、時代をつなげ

東北ブロック 米沢大会 9月22日(土)

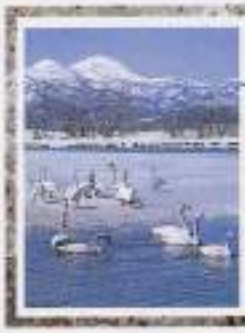
テーマ 「蔵出公現る　大胆なチャレンジ 21世紀の地域(くに)づくり」

会場 米沢市市民文化会館

分科会 帝門冬二氏による講演

幹部の YEO の皆さん時に東北ブロックの皆さん！米沢 YEO は毎年 燃えてあります。会員全員がブロック大会開催の苦労と責任そして米沢及び地域のために 21 世紀を担日にひかえ米沢 YEO は積極にそして大胆に地域づくりにチャレンジしております。まさにその最大成とでも言うべきものがブロック大会で開催されんとしております。しかしこの事業は永遠のテーマでもあります。さらなる進化のため米沢 YEO はまだまだ輪い続けます。現地大会に参加していただいて、この永遠のテーマを一緒に輪いましょう。また、大懇親会では天下の米沢牛はもちろん、あかばんぎりラーメンを始めとし各種米沢ラーメンそして郷土料理も満載もたくさんあります。米沢 YEO 心を１つにし「お迎えするこころ」を大切にします。よろしく お願いします。

北海道ブロック 砂川大会 9月2日(土)



テーマ 「連携」新たな視点、今こそ見せよう負けない力

会場 砂川公民館・砂川パークホテル・上砂川町民センター

分科会 テーマ 「連携」(上砂川町民センター)
講師 倉本 聡 先生

■大会プログラム
9月1日(金) ゴルフ大会 砂川ファンシーゴルフコース
市内懇親会 上砂川温泉
9月2日(土) 会員会議 砂川市公民館
式 典 砂川パークホテル
分科会 上砂川町民センター

北陸信越ブロック 魚津大会 9月20・21日(土・日)

テーマ 「"しんきろう伝説"が今蘇える!! じゃんと恋 2000」

会場 新川文化ホール・東京第一ホテル魚津

分科会 第１ 自転車屋から、日本最大級のパチンコの道のり
第２ 蜃気楼伝説から時代を学ぶ
第３ 深層水の神秘
第４ 世界のYKKに学ぶ
『変なるCorporate Valueを求めて』

関東ブロック 相模原大会 10月13日(金)

テーマ 「友だち100人つくろうよ！ てるて姫の里から始まるYEG交流」

会場 グリーンホール相模大野、相模大野駅周辺他

分科会 第１「ベンチャービジネス勝利の方程式」
第２「デジタルからアナログへ 史上最大のオフラインミーティング」
第３「相模大野トレジャーハンティング」

※大会期間中同時開催
神奈川物産展、ビジネス交流プラザ
県下青年部活動紹介ブース

近畿ブロック 宮津大会 9月7・8日(土・日)

テーマ 「原点からの発信　人の輪・智恵の輪・笑ちくわ」

会場 宮津会館・(仮称)歴史の館・宮津市民体育館

■宮津 YEG45 周年記念「発祥の地記念碑」除幕式
■近畿ブロック会長会議　■近畿ブロック協議会総

さきさきのぼること 45 年前、京都府の小さな小さな「宮津」という街で創造豊かな若者たちの手により、日本で最初の商工会議所青年部が誕生いたしました。この小さな田舎町の出来事が、それから数十年の歳月をかけ、今では YEG として全国に広がり、２１世紀の日本の経済を担う大きな大きなたになりました。さ ニアムブロック大会は、「天橋立」「元伊勢神宮」のある歴史の町「宮津」で、「原点からの発信」というテーマで開催されます。

東海ブロック 鳥羽大会 9月29日(金)

テーマ 「TTS 夢大夢(イッツショウタイム)」

会場 三重県営サンアリーナ・鳥羽御本木真珠島

「大きな夢の実現に、挑戦する・躍動する・輝いて生きる」をテーマに、21 世紀への経済発展のための責務を担う青年経済人として実りのあるブロック大会をめざす。全国有数の観光地・鳥羽市においても、長引く不況と構造的変革による影響、観光客のニーズの多様化により、観光客の減少は下降カーブを辿り、鳥羽市の基幹産業である観光産業を始め各産業の経営環境は一段と厳しい状況になっている。西暦 2000 年に注目となる東海ブロック大会では、伝統豊かな文化遺産鳥羽市の魅力である海の幸の数々は語るまでもなく、観光地の歴史・文化（伝統文化等）・自然を最大限に活用してもらう。海大会を開催として新たに全国に発信する新しい地域交流産業の開発・新たな魅力を創出し、東海ブロック各地に鳥羽市の門・橋渡役をする。また、会員相互の企業間交流を深めるとともに、地域連携を図り、市場の拡大と地域中小商業の振興・活性化を目指す。

中国ブロック 鳥取大会 10月21日(土)

テーマ 「風・流・砂・波　鳥取見聞録」

会場 グリーンホール相模大野、相模大野駅周辺他

分科会 第１ 砂丘周遊見学
第２ 少子化問題についてパネルディスカッション
第３ 癒し…温泉と健康について

※大会期間中同時開催
郷土物産展開催予定・技術交流プラザ
広報誌掲示板

九州ブロック 柳川大会 10月14・15日(土・日)

テーマ 「21世紀へのプロローグ・燃やせ若き情熱！九州創世紀」

会場 柳川市民会館

分科会 第１ 有明海探訪
第２ ソーラーボート体験レポート
第３ 講演会 朝アサヒ飲料 講師氏
第４ 柳川歴史探訪

四国ブロック 善通寺大会 9月4・5日(土・日)

テーマ 「さあ 新たな世紀へ！ 空海の里 まんでがん 善通寺」

会場 善通寺市民会館 善通寺市民体育館
善通寺商工会議所 善通寺市内各地

分科会
第１
中心市街地活性化について
第２
地元団体代表者による講演会
第３
地元団体代表者による講演会

アントレプレナーズ委員会紹介

委員長　竹川博子（三重・松阪）

今回第1会議所青年部連合会（西青連）が設立され、今年で十八年目を迎えます。

設立当初、西青連は、全国の情報、ブロック等の連絡調整機関としての機能を持つのみでしたが、連携の結束を強めるとともに、時代のニーズや会員の要望等を受け入れ、事業を持つ組織へと毎年少しづつ変遷を重ねて参りました。当然、その主役は各ブロック、県連という単位から、各単会やメンバー個人へと移り変わって行く中、西青連もその活動の主軸を全国の会員メンバーへと移行し、地域に限定されない全国ネットへの企業活動の拡大やビジネス情報の発信、ビジネスチャンスの獲得に取り組むと同時に、企業家としての自己研鑽、地方経済活性化に貢献する行動を行なってまいました。そんな流れの中から、このアントレプレナーズ委員会の前身である特別委員会が設立され、平成七年度の社会委員長、八年度の松田会長、そして九年度の大村会長と、この三年間に蓄積された『連携推進事業』の成果を踏まえ、昨年、北島会長の年度に、特別委員会からアントレプレナーズ委員会へと名称が変わり、より実践的な委員会へと変貌を遂げ、今年で二年目を迎えています。

毎年全国から数多くの熱意あるYEGの仲間が集まり、これまでもさまざまな活動が行われて参りましたが、その内容が充実度を増す中、委員会への期待度も年々高まり、今年では、日商を始め関係各省庁からも最も注目を集めている活動的な委員会でありますことは、皆さまご承知の通りであります。

平成十二年度のアントレプレナーズ委員会では、全国のYEGネットワークを通じ、YEG連携（地域連携）を推進、強化し、新たな人的ネットワークの構築、ビジネスチャンスの発掘等、実践的経済活動の研究、推進を更に推し進めるとともに、二十一世紀を担う青年経済人としての資質の向上を目指す中、今まで以上に、企業へ、地域へ、そして単会へフィードバック出来る『実り』ある委員会運営を工夫考えております。

この活動を通じ、新世紀へ向けての我々の社則と資格を改めてあげるとともに、新しい仲間・新しい流通・新しい産業が急速に求められる今こそ、私たちの手で次世代に受け継がれて行く『何か』を、この委員会から、皆様と一緒に作り出せれば大変嬉しく思います。そしてその中から、ご参加頂いた仲間方のビジネスチャンスが大いに広がり、各々の企業が勝ち組みとして更に飛躍されますことをご期待いたしております。

今年一年、皆さまたちに熱り熱心をして先輩に立ち頑張りますので、最後までご支援ご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

スタッフおよび部会紹介

「委員会毎に部会長、副部会長（所青連出向理事）を中心に、独自に基づき具体的な活動計画を策定し行動するとともに、委員会全体の連携を強化し幅広いビジネスチャンスの場を提供できればと考えております。また、4部会を通じアントレプレナーズ委員会全体のテーマとして、21世紀を担う青年経済人として、資質、品質を高めるとともに、その視点からの政策提言活動を行って参ります。

委員会構成

※相当部会長（1名）：宇井成一（佐賀）
※委　員　長（1名）：竹川博子（松阪）
※副委員長（1名）：森　一弘（山鹿）
※委　　員（9名）：永峰裕明（東京）、門脇秀明（江戸）、鍵野伸夫（沼田）、
荒野真誠（加賀）、新木豊（紀伊）、松岡幸子（姫路）
熊本吉彦（福岡）、前田伸政（西大寺）
特別顧問（2名）：立本太位幸（伊勢崎）、永井隆（水戸）
専門委員（30名）：一般公募委員、各部会毎に紹介

（※印は所青連役員）

地域振興部会

部会長：門脇秀明（江戸）　副部会長：森　一弘（山鹿）

事業計画：中心市街地活性化対策の事例研究ならびに、街づくり条例制定への提言。
（1）平成11年度の中心市街地活性化委員会が行ってきたTMO関連を継続。
（2）各委員の地域の事例を調査、研究し実践方を策定。
（3）事例視察。

部会長から一言：地域振興部会の本年度活動テーマである中心市街地の賑活化、空洞化は、昨今大きなテーマ、実践となっておりますが、地域経済を支える我々YEGは、アントレプレナーズスピリッツをもって立ち上がり、この問題に取り組んでいかなければならないと思います。中心市街地活性化対策の事例研究を基に、行政でも『中心市街地活性化法』が制定されておりますが、まず細やかなメニューの活用となっています。これを有効利用できるよう勉強し、色々なアイデアを出し合い、連携を深め、地域経済発展のために貢献することを目的に！年間活動して参ります。我々YEGメンバーが地域連携を密にすることにより知恵をひきだせれば行政への地域連合確立のための起爆剤として寄与できるのではないでしょうか。1年間の活動通じ、参加されたメンバーの皆様が何かを得、参会、地域へフィードバックし、それぞれのビジネスチャンスへとつながればと思います。

専門委員（29名）：石井博義（高岡）、野村久男（出雲）、吉川恒（明石）、松崎敏二（伊勢崎）、江角敏治（加賀）、小倉伸吾（中村）、宮本直人（浦川）、武田聖佳（松江）、藤枝利男（郡山）、小林和州（鹿生）、小森田清一（郡山）、武田聖佳（松江）、山本幸子（松江）、藤枝利男（郡山）、小林和州（鹿生）、小倉

委員会紹介

総務委員会

今年度の総務委員会では、以下の事業を計画しております。

1．総会、役員会の開催運営（懇親会を含めた進行）
2．規約・組織・各大会等の検討
3．対外的な活動の窓口担当（渉外担当）
4．会員拡大の援助
5．その他（他の委員会に属さない事項の検討）

この中で特に長年の懸案となっておりました、規約・組織・各大会につきまして、集中的に協議を重ね、今年度中にある程度の決定までこぎつけたいと思います。現在各大会のあり方につきましては企画委員会と合同で検討に入っております。以上一年間よろしくお願いします。

企画委員会

全国大会と全国会長研修会、そして今年度からブロック大会という商青連の重要事業に関する業務を担当する我が企画委員会では、主管地ＹＥＧ、開催地ＹＥＧの方々が大会の企画・運営をやりやすいように、開催地決定から開催までの一連の業務を見直し、改善していこうと計画しております。３つの大会にはそれぞれ固有の目的があります。主催者である商青連は、主管、開催地ＹＥＧにその目的を達成していただくべく、知恵を絞り、汗をかくことをお願いするわけです。そのためには、各大会の目的をより分かりやすく示していくことも必要と考えています。開催要綱も含め改善すべきところは改善してまいります。

例年どおり、今後の全国大会、会長研修会の開催地選定に関わる業務も公正に進めてまいります。「素朴な疑問を大切に」を合言葉に、古原副会長のご指導の下、大脇、池田、高瀬、榊原、齋藤、八巻の強力メンバーで、一年間、戦っていきたいと思います。戦う青年部の先鋒隊として……。

広報委員会

今年度、広報委員長を仰せつかりました。山口県連西山ＹＥＧより出向の田中拓朗です。

広報は他の委員会と違い、日先の変わった事業を多々取り入れられますので、今年度のスタッフものびのびやらせて頂いております。又、倉橋会長の方針も外に積極的にＰＲするよう言われていますので、その点しっかり検討しているところです。今年度次の様に考えておりますが、皆様にいろんなご注文いたすことと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。尚、委員会スタッフのご紹介は総集後記にて行いますので是非見て下さい。

今年度の方針

青年部活動の活性化を図るため、情報を収集し発信していくと共に、商青連活動を様々なメディアを用いて、内外に積極的にＰＲしていく。

①機関紙「青生」の編集・発行・配布
②日商発行の「石垣（月刊誌）」、「会議所ニュース（旬刊誌）」による青年部活動の紹介と購読の促進
③商青連ホームページの改訂・利用促進
④商青連及び商青連活動の対外ＰＲ

研修委員会

今年度研修委員長を仰せつかりました、秋田県連は花火の町大曲YEGより出向させて頂いております藤田でございます。当研修委員会は、担当の髙部起久夫副会長を加えた計10名のメンバーで、如何に全国のメンバーが自分の事業のヒントにあるいは各地域の活性化に貢献できるか、といったテーマで研修メニュー作成を継続中です。研修事業が、いくらかでも各メンバーのヒントになれば、これに勝るお返しはないと考えております。また、他のメンバーのみならず、当事者としましても、研修メニュー作成を通して、数倍以上の成果を享受するつもりです。

平成就職で恐縮ですが、小生は総合衣料販売業を営んでおりますが、ご多分に漏れずこの厳況の中、日夜事業の継続・発展に日苦八苦しているのが本心であります。そんな中、数の中で青現事業を考え進めておりましたところ、商青連出向中、国の創業者・ベンチャー支援対策事業が飛び込んでまいりました。ダメもとで早速申請を出しましたところ、おかげさまにて当支援事業秋田県第１号の補助を受けることができました。今つくづく商青連出向を感謝しております。

今後も一事業主として、また研修委員長として、会社に、地域に、そしてＹＥＧに還元すべく、その名の通り研鑽に励んでいく所存です。一年間よろしくお願い致します。

ブロック紹介

役員紹介

▼監事
前田 勘次 岐阜県

▼相談役
吉本 博次 奈良県

▼西部会長
北島 重利 滋賀県

福田 有史 福岡県

大村 晴利 埼玉県

中国ブロック

（理事）
能美 豪二 島根県
岡田 伸政 岡山県
田村 清則 広島県
田中 拓朗 山口県

ブロック代表理事
澤 健一
（鳥取県）

北陸・信越ブロック

（理事）
高野 善誠 石川県
曽子崎安正 長野県
高橋 宏平 新潟県

ブロック代表理事
嶋田 茂
（富山県）

北海道ブロック

（理事）
永幡 裕明 北海道

ブロック代表理事
村井 順一
（北海道）

九州ブロック

（理事）
吉武 高史 佐賀県
池田 信二 長崎県
森 一弘 熊本県
山南 晋 大分県
林 靖浩 宮崎県
大脇 唯興 鹿児島県
城川 政憲 沖縄県

ブロック代表理事
堀田 義直
（福岡県）

関東ブロック

（理事）
鈴木 悌介 神奈川県
渕浅 清二 茨城県
篠崎 利和 栃木県
藤野 伸夫 群馬県
田代 正人 埼玉県
鈴木 統 千葉県
高部 三司 静岡県

ブロック代表理事
秋山 純夫
（神奈川県）

東北ブロック

（理事）
中澤 博 青森県
藤田 豊市 秋田県
門脇 秀明 岩手県
坂井 政行 宮城県
山田 浩樹 山形県
八巻 稔 福島県

ブロック代表理事
高橋 弘隆
（秋田県）

四国ブロック

（理事）
中村 盛彦 徳島県
水野 幸茂 愛媛県
小松 計夫 高知県

ブロック代表理事
平田 実
（香川県）

近畿ブロック

（理事）
杉本 定幸 滋賀県
首藤俊一朗 大阪府
福井 秀治 兵庫県
岡本 吉良 奈良県
御前 紀朗 和歌山県
松葉 幸子 福井県

ブロック代表理事
大村 利和
（京都府）

東海ブロック

（理事）
竹川 博子 三重県
神原 康雄 愛知県
鈴木 豊 愛知県
藤田 真悟 岐阜県

ブロック代表理事
中西 勇
（三重県）

APEC SME 2000 REPORT

全国商工会議所青年部連合会
アントレプレナーズ委員会

平成十二年度八月八日（日）～二十四日（土）の七日間、ASEAN域内中小企業者の意見交換の場である、マレーシア・ペナン・ガリン市で開催された、APEC SME中小企業会議（ビジネスフォーラム）に日本青代表団（大西団長）が参加、総勢二十八名として参加、当日は会議傍聴（会場）、始め総勢二十八名として参加、当日は会議傍聴（会場）、始め総勢二十八名として参加、当日は会議傍聴（会場）、始め

第20回鹿工会議所青年部全国大会
大会会長 大 脇 唯 眞

全国のYEG会員の皆様!どうかつこつで、鹿児島へ来やったもんせ!!

さて、我々鹿児島の青年は薩摩隼人と呼ばれ、その豪快さと爆発的な行動力で全国に知られております。

本県は温暖な気候や豊富な温泉など豊かな自然の恵を享受する一方で、火山噴火や台風の襲来など常にその脅威にもさらされてきた土地であります。

このように独特な風土の中で薩摩隼人の気質が育まれ、多くの英傑が世界へと羽ばたいていきました。

歴史を紐解くと、「隼人の大和朝廷に対する反乱」「薩英戦争とその処理対応の過ち」「明治維新の元凶」等々…いつも「何かが変わる」時代には偉大な先人たちが底知れぬパワーを発揮して難局を打開してまいりました。今回我々が掲げている"Mother Earth ここからうまれるYEG新世紀"まさしくそういう意味においても、2000年を迎えるにあたり、新たな模索が、今YEGのみならず社会のストラクチャーの中でも要求されているところであります。

我々のレベルでどの程度まで、エクスプロージョンが可能かは定かではありませんが、精一杯鹿児島県連のメンバーと企画立案の集大成をお見せできるものと確信いたしております。南北600kmに及ぶ郷土が有するふんだんの緑と、おいしい空気を思う存分に浴び、温泉に浸かり心身のリフレッシュをし、「Re-turn to KAGOSHIMA!」を合い言葉に心ゆくまで鹿児島を堪能して頂ければ幸いと考えております。

全国のYEG会員の皆さーん! 西暦2000年の11月16・17・18・19日には手ぐすね引いてまーす、待っちょもんでなー!!

第20回商工会議所青年部全国大会
大会実行委員長 妹 尾 隆 哉

全国のYEGの皆さん、こんにちは!!「2000年だよ、全員集合!!」と言うわけで、お待たせいたしました。いよいよ第20回全国大会鹿児島大会がやって参ります。開催地テーマは「まんまるかごしま」。鹿児島県連が一丸となって皆さまを南の楽園、YEG天国へご案内いたします。「これがYEGの全国大会だ!!」を満喫して頂きたいと思います。大会の主役はもちろんあなたです。

November 11 2000

16 木
- 前泊者ゴルフ
- YEGヤングリーダー研修会
- YEG交流会(前泊者懇親会)

17 金
- 商青連諸会議・分科会・懇親会・OBサロン
- YEG全国まちおこし物産展
- ビジネス交流プラザ

18 土
- 記念式典・記念講演
- YEG全国まちおこし物産展
- ビジネス交流プラザ

19 日
- YEG全国まちおこし物産展

エクスカーション

鹿児島県連の各単会が企画しました。

鹿児島の自然を食を技を満喫していただく
エクスカーションを準備いたしました。

平成12年11月16日(木)

YEG親睦ゴルフ大会
●いぶすきゴルフクラブ●6:00~17:30

Aコース
●11月16日(木)から17日(金)●1泊2日
縄文の街"こくぶ"と
晩秋の霧島路

Bコース
●11月16日(木)から17日(金)●1泊2日
北薩摩千年の旅

Cコース
●11月16日(木)から17日(金)●1泊2日
南薩摩周遊コース

平成12年11月17日(金)

ファミリーエクスカーション

E-1コース
●11月17日(金)●14:00~17:00
鹿児島市内周遊コース
(同伴者用)

平成12年11月18日(土)

D-1コース
●11月18日(土)から19日(日)●1泊2日
奄美大島自然体験ツアー

D-2コース
●11月18日(土)から20日(月)●2泊3日
奄美大島自然体験ツアー

ファミリーエクスカーション

E-2コース
●11月18日(土)●9:30~13:00
鹿児島市内周遊コース
(同伴者用)

Fコース
●11月18日(木)から20日(金)●2泊3日
種子島・屋久島コース

●ご注意
17日(金)および18日(土)に実施いたしますファミリーエクスカーションは青年部メンバーのご家族など同伴者用のエクスカーションであり、メンバー本人は分科会および記念式典・記念講演と重なるため参加できませんのでご注意ください。

翔生塾 IN アメリカ

▼ウッドベリーコモンアウトレット視察

▲ウオール街

「翔生塾を終えて」

研修委員会　鎌田真哲

六日間のアメリカ研修を終えて、ニューヨークのマーケットの凄さに圧倒されました。

ブランドのメッカらしく品揃えは各国世界一だと思われます。大量の品揃えの中にはやはりデッドストックやバッタ品もでるわけで、それぞれはしっかりとした一つの業態（フォーマット）として成り立っていました。それが、アウトレットSCでした。流通の驚くべきアメリカでは、それぞれの物流網や所時間帯によって、そこにあった値段と品揃えをもって出店し、お客様にサービスを提供していました。本当のサービスは、そこに合った価格で、豊富な品揃えで、気楽に、短時間で、ショッピング出来ることだなと、思いました。自分の店にとってお客様のランク付けをすることで、客層が解り、その客層を分析することで、新たな業態を作ることが出来ると確信しました。

広山氏の講演の中で、「本来のお客様と接点が必要」と言われ、確かに、一年に一回のお客様と、日頃買って下さるお客様は、違うサービスが必要になってくると思うし、メリットの提供によってより深い固定客になっていく。

BtoBの話の中でも、二千億以上のDSやGMSが仕入と商品開発をインターネットにて始めはじめたとのこと、どの企業も利益の確保は商品開発しかないことは、解ってきたようで、このままでいくと、小さな小売業などひとたまりもありません、世界ナンバーワンのウォルマートは、日本でヘッドハンティングをはじめたという情報も入っているようです。

今後私たちも、一人の社長が頑張っていくのではなく、企業同士が組む組織を作らない限り、狩猟民族であるアメリカと、農耕民族である日本では勝ちが決まってくる気がしています。インターネットはBtoC（企業間）で発達しているようです。今回の旅で、これからの新業態のヒントと全体の方向（仕入と商品開発）が見え、今後の会社の方針に役立てていきたいと思います。

また、一番大切なのは、常に自分を創業原点「（なんのために）Return to Basic」にもっていくことこそ、私たちがより起業家として必要なことだと確信しました。　最後に、同行して下さった皆さんのおかげで沢山のことを学ばせていただきました。また、出発前から無理を聞いていただきました「ウイングトラベル」の三上さん、本当に有り難うございました。

▲ホワイトプレーンズにおいて

▼熱心に講義を受ける塾生

ホワイトプレーンズ市▲

◀倉橋会長と芋井副会長

▲ワウスシーポート

▲ホワイトプレーンズ市　市議会議場

▲広山氏の講演

▼1日目の懇食会場

地域を結ぶ、時代をつなぐYEG 新未来創造宣言!!

Shake hands in HANDA

山車・蔵・酒造の街、半田から21世紀の息吹きを…

21世紀最初の会長研修会は愛知県は名古屋から30分、常滑の知多半島・半田の地で行なわれます。不況は底を打ったとはいえ、厳しい経済状況の中、青年部活動とは、単会運営や会員増強など今皆が感じている問題を、語り合い、学びあっていく場としたいと思います。

Young Entrepreneurs Group of Handa YEG

第18回商工会議所 青年部

平成12年度

全国会長研修会 あいち半田会議

2001年2月 8(木)9(金)

仮想半田会議感想文

[illegible]

会長物語（おく会議研究だす）

私って、商青でとり会長研修研究だす。前会長のさん指導員さんの「夜に立つ商店街」とか言ってつくられた会長やってるど。
おかげで帰ってこれはやたくさん、子供らにはパパにされ、社員には尊敬されさんさんだす。
今回、会長研究会の会議があると聞いて研修会ってたら、同じ商工会議所青年部の半田市のメンバーに「おらもーゆった。一人で行ってけれ」って言われ、商青連が商店にずしっ。おいら半田会議で「夜の街？宴会所の新？商店街の新？知らねわけねーべ。海台のことかやらの話？聞いたら教科書に乗ってるべーって、またパパにされちまったど。あーぁ。
さて当日、朝早く朝に空港まで車で送ってもらったど。名古屋空港からバスでも名古屋駅へ、へへへーっ。これが噂の名鉄ホテルの入っているコイシタワーかー！。よっ！最高で広いだとる首が凄ッシュとして、上向いたまま首が痛らねーよっ。こりゃ本当に名古やさんスケイるだべさ。
名鉄運輸に乗って知多半田駅で降りたら、社宅の長い半田ケアセリの中にいちゃんにつれられて「A グループ？？？」だとさ。
A グループは、一見物そうな古本神様さんや一見おとなしそうな古家手造さんや一見職人はうと聞きたくなる字多成人さんや一見スケベそうな仙頭記入係さんや一見賢そうな石川修さんや一見もう酒入ってそうな千葉区石丸さんなどとうもほどの時間、みんなのがまをやう！？。
でもこんな仲間と分科会・食事・懇親会・二次会と続き、楽しく有意義な研修会、人は見かけに騙されるなかれと実感した。
お互いの夢や悩みを語り尽くしてる、夜の総会後の解釈にはつい熱いものが　！総会を暫く続く様子も時間をもんどり。

結果は心に残った。こんな連帯らしい部分いと感動を与えてくれた会長研修会に参加し行こうと。
そして、単会のメンバーにもこのチャンスをあたえようと。
帰宅した頃には疲れ始めていて、まっすぐ寝を見られるようになっていた。そして夕食の時、家族の前で、つい半日での感動が言葉となって出ていた。帰ッたら子供たちも、パパが一回りたくましくなって帰ってきたかのように聞き入った。久しぶりに明るい夜であった。

第一回 ヤングリーダー研修会を終えて

全国商工会議所青年部連合会
研修委員長　藤田　晋市

まずは全国各地より、一八〇余名の二参加を頂き本当にありがとうございました。昨年度は、各地ブロック大会及び全国大会において、ヤングリーダー研修をしたが、今回は一部分のスタイルに倣し、知識に特化を出すかが「看護を絞ませたところです。

講師王様でも述べさせて頂きましたが、この経済不況の新、どれだけ有意義なヒントをアントレプレナーたらんとする全国のメンバーに提供できるかが最大の課題でした。研修内容についてはいろんな、賛否両論はおありでしょうが、委員長という立場から見て、我が研修委員会に合格点をつけてやって頂きたいと思います。講師の木村先生は、日経ベンチャーの編集局長としてはもちろんの事、実に衣を着せずかなりレビアな論調であるというのはある程度予測出来ましたが、あそこまで斬り中すくお話されるとは・・・・。

アントレとしての現在成功されている企業主様・所在地・社長名・経営理念等を見出だに紹介され、恐らく参加者の中には視察に行く人もいるのでは？、はたまた今後伝ない企業をほのめかすなど、本当に興味深く拝聴させて頂きました。特に印象に残った話題では、「この世界はあと十年続く。」、ちょっとショックでしたが、その後「勝ち組みにならうと考えず、加担に生き残りをかけるか。」また、「私が広ない」と言った会社は必ず潰れる。」「とにかく魅と違った発想がなければ成功しない。」「大企業と中小企業に平等に与えられたものは時間である。だから中小企業が大企業に勝つには時間に対して動かなければならない。」「成功の条件は運である。だが、その運を呼び込む努力が必要。」そして極めつけは、冒頭に話された社長が公職に数多く就いている会社は潰ない！」

全国のYEGメンバーにとって本当に耳が痛いお話でした。そういった先生のお話が功を奏したのか、グループディスカッションでの熱のこもった討議では、主種者として全て納もしい限りで、討議結果発表では当初いくつかのグループより発表して頂く予定が、結果的に全てのグループからお話を頂戴出来、かえって良かったと思っております。

今回の研修で参加者は言うに及ばず、成果を各地域にお持ち帰りになり、商工会議所がいくらかでも活性化される事を期待しております。当研修委員会も、この度の研修会をひとつのステップとして、次回提起題での「第二回ヤングリーダー研修会」に向け、再度皆様により為になる事業を立案中ですので、今回以上のご参加呼び掛けとお願いします。

▲初講演の講話

編集後記

▼今年の広報メンバーは、ほんとベストメンバー。編集長？もフルに仕事します。田中拓郎▼商青連活動を解りやすく見て読んで頂く事を目的に編集いたしました。難生に対するご意見を商青連HPにどしどしお寄せください。（矢口幸二）▼全国をメールで結んだ編集に「心」の注入ができたかな？田代正人▼委員長の夜どおしのリーダーシップに脱帽（遠藤清二）▼「可」出向し初めて分かる　商青連（野子泰宏）▼解ユニオン　小松社長です。みんな大好き！楽しい！！（小松社長）▼広報委員会は、大変ユニークな連ばかりなので「夜の部」で楽しく委員会活動をさせてもらっております。（中原　博）▼パワーみなぎる委員の皆様の力が結集して、素晴らしい「難生」が出来上がりました。（藤田拓郎）▼広報委員の吉野　治（藤山TES）さん、お疲れさまでした。次号は30号記念号です。皆さんご期待下さい。（山崎　晋）

全国商工会議所青年部連合会

商青連ホームページ新装開店

ホームページをリニューアル致しました。日商のサーバーへの移行もあり期間的な遅れがあったことをお詫び致します。
これから引き続き更新に努めますので、よろしくお願い致します。

商青連ホームページアドレス

http://www.cin.or.jp/yeg/index.html